

言語聴覚士の介護予防への参画



一般社団法人 日本言語聴覚士協会
常任理事 黒羽真美

言語聴覚士 介護予防への貢献



きく

難聴



はなす

声量・声質変化



たべる

嚥下機能低下

コミュニケーション
困難感

食べにくさ



不活発な生活

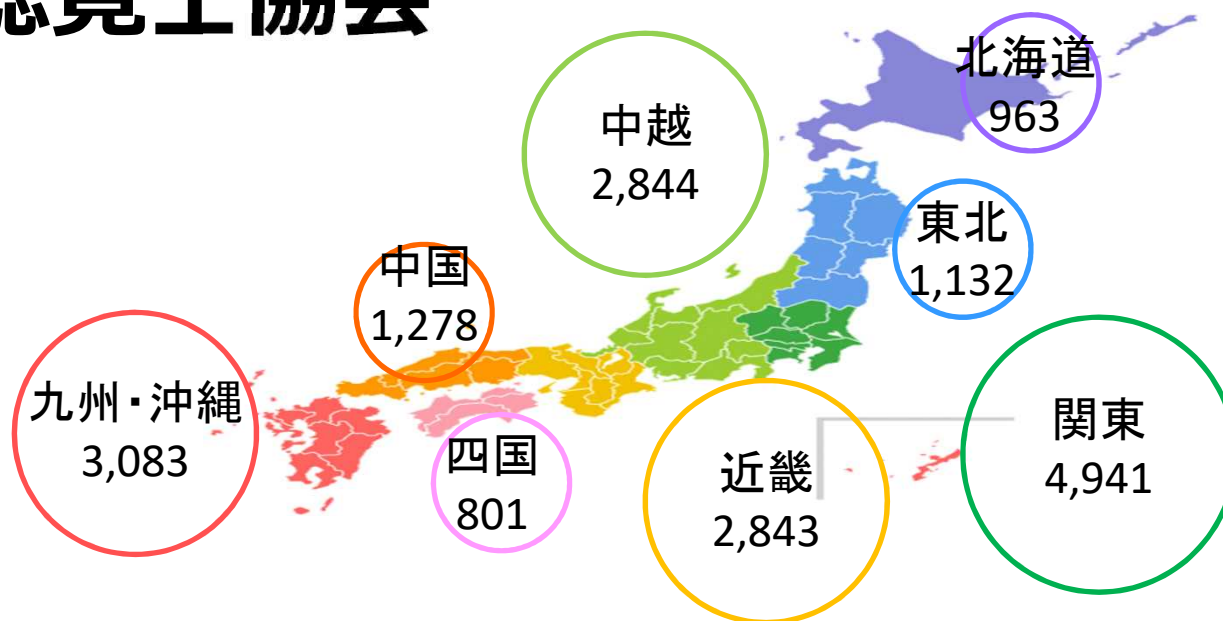
介護予防

よく食べ よく交流し

心身ともに健康な生活

日本言語聴覚士協会

会員数
17,890名



地域リハビリテーションに資する人材育成事業（2016～）

初期研修

導入研修

紹介・派遣

地域ケア会議 助言者の養成

計12時間（90分×8コマ）

修了者
946名



介護予防 支援者の養成

計9時間（90分×6コマ）

修了者
882名

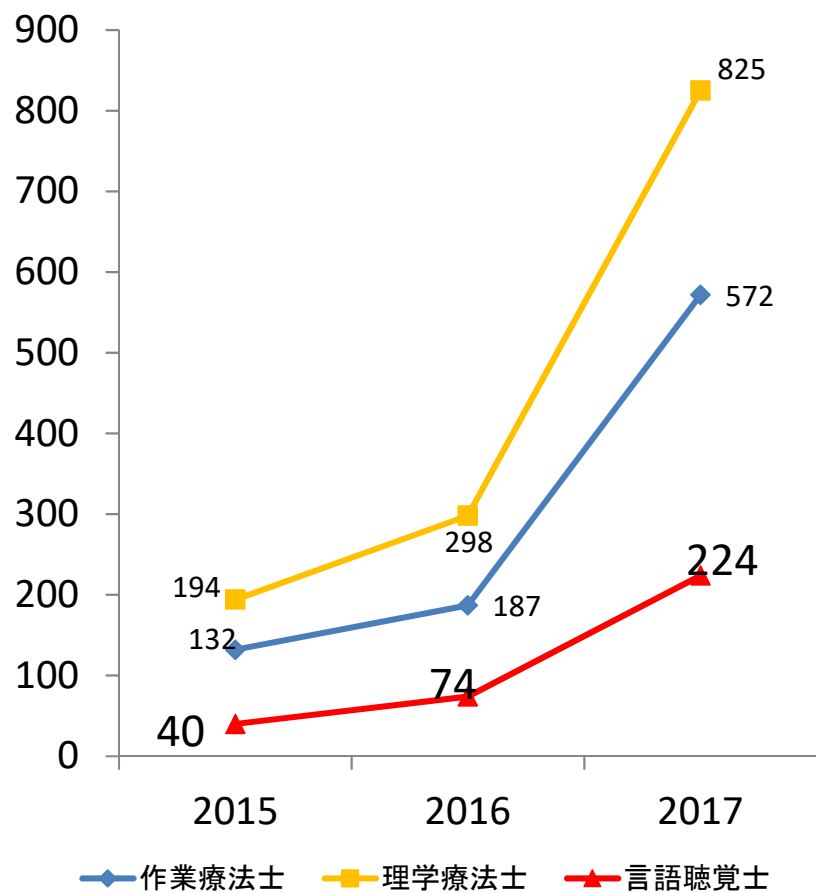


2019年9月末時点

地域リハビリテーション活動支援事業の実施状況 (2015-2017)

45/47

主な専門職の関与する市町村数



北海道	29	石川	1	岡山	5
青森	2	福井	4	広島	6
岩手	0	山梨	0	山口	5
宮城	7	長野	4	徳島	2
秋田	1	岐阜	1	香川	2
山形	6	静岡	2	愛媛	1
福島	9	愛知	5	高知	8
茨城	4	三重	1	福岡	6
栃木	5	滋賀	5	佐賀	3
群馬	3	京都	1	長崎	1
埼玉	11	大阪	5	熊本	4
千葉	3	兵庫	6	大分	5
東京	13	奈良	2	宮崎	5
神奈川	3	和歌山	4	鹿児島	10
新潟	6	鳥取	4	沖縄	9
富山	1	島根	4	合計	224

会員の活動

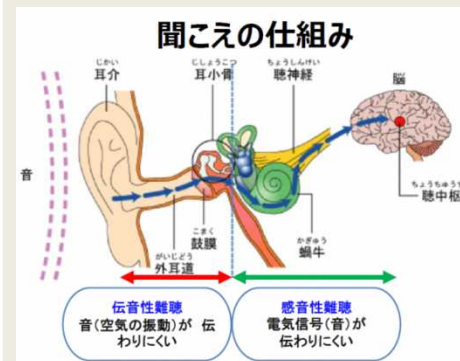
- ◆ 講話
- ◆ 体操指導
- ◆ 訪問指導
- ◆ 相談対応
- ◆ 技術指導
- ◆ ガイドライン作成



鹿児島県言語聴覚士会提供

難聴への対応

加齢による心身の変化
 老年症候群
 フレイルの多様性
 中年期と高齢期の健康づくり戦略
 きこえの仕組みと難聴の特徴
 難聴の悪影響
 難聴の人との接し方
 難聴の人が利用できる公共サービス



横浜市 防災情報Eメール 登録無料

携帯電話に防災情報等を電子メールで配信します

災害への備えは、正確な情報を、いち早く知ることが大切です。横浜市防災情報Eメールでは、河川の水位情報や雨量情報など、**身近に迫っている緊急情報をリアルタイムにお知らせ**します。あなたのご家族の安全を守るために、ぜひご登録ください。

配信情報

- ※ 受信する情報は選択できます。
- ① 横浜市の緊急なお知らせ
- ② 気象情報、津波警報、注意報
- ③ 天候予報、霧中予報情報
- ④ 気象特別警報・警報・注意報
- ⑤ 河川水位、雨量、警報お知らせ
- ⑥ 土砂災害警戒情報
- ⑦ 天候予報、霧中予報情報
- ⑧ 光化学スモッグ、PM2.5情報等

登録方法

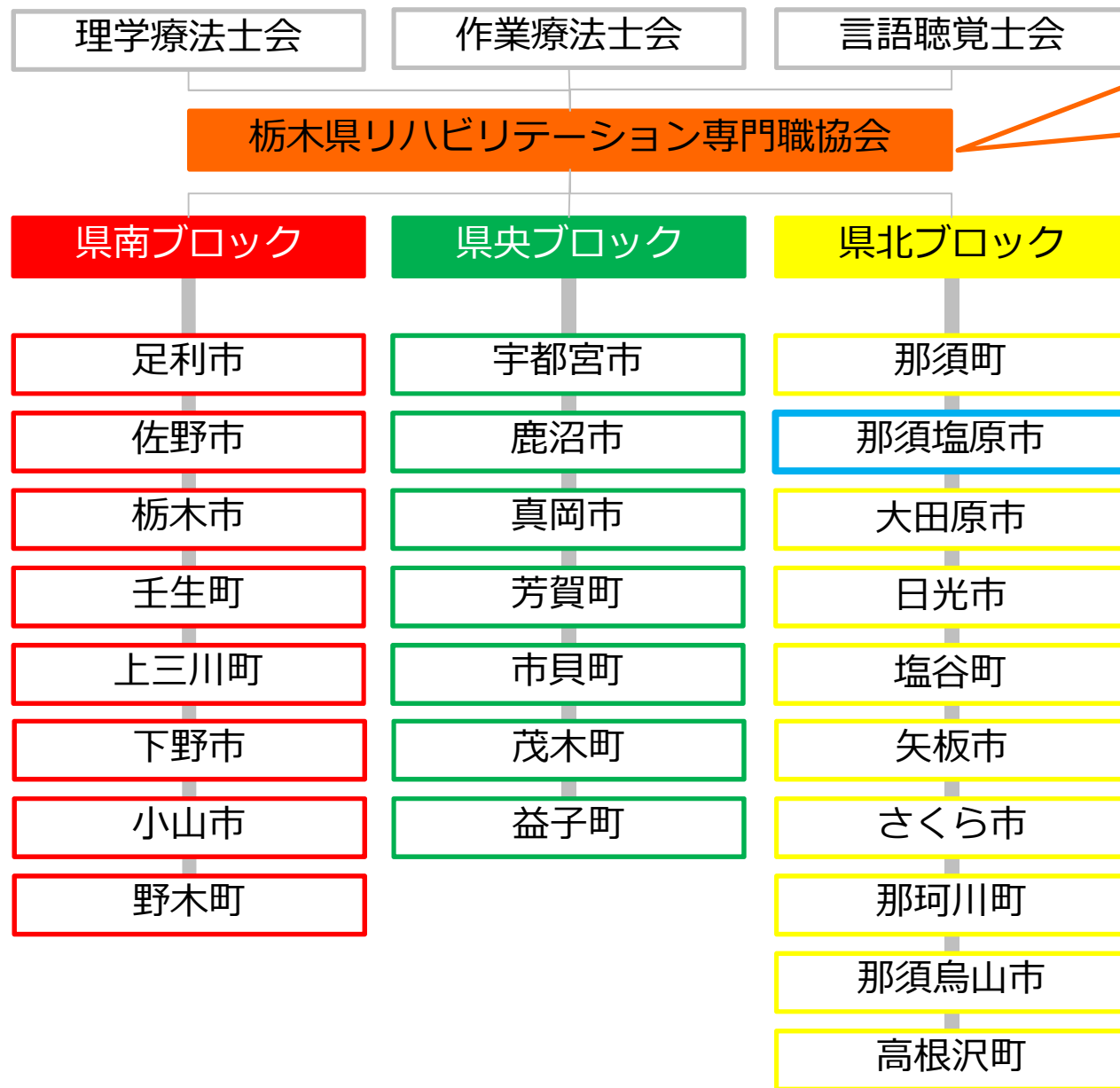
① 下記のアドレスにメールを送信します。
entry-yokohama@bousai-mail.jp

※ 件名：本文は空欄のまま結構です。
 ※ 右の二次元コードから、アドレスを読み取れます。

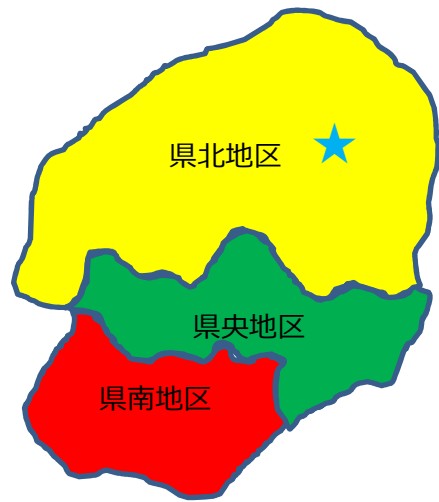
英語版も配信しています。
entry-yokohama@bousai-mail.jp

神奈川県言語聴覚士会 清水氏提供

ST,PT,OTの組織化と介護予防への参画



ST 47名
PT 135名
OT 157名



介護予防事業
ST 8市町
PT 18市町
OT 10市町

市町村支部における介護予防

那須塩原支部 65名 (ST10名 PT40名 OT15名)

今までの事業参画状況

- ①通いの場の活動支援
 - ②介護予防サポーター養成講座の講師
 - ③総合事業サービスA（訪問・通所）の事業者対象研修会の講師
 - ④自立支援型地域ケア会議の助言者
 - ⑤生きがいサロン指導員対象研修会の講師
 - ⑥総合事業通所サービスC 立ち上げ検討
- 市高齢福祉課担当者との会議（年2回）等で事業化

導入期

体操プログラム指導
動機づけの強化
サポーター養成講座

立ち上げ支援



安定期

支援者への
助言・指導

支援者支援

展開期

動機づけの再強化
口腔・嚥下プログラム指導

継続支援



言語聴覚士が 一般介護予防を通して取り組むこと

- ✓ 言語聴覚士はきく、はなす、たべることを支援し、よく食べ、よく交流し心身ともに健康な生活を支援する
- ✓ 積極的に他職種と連携して効果的な取り組みを進める
- ✓ 通いの場の支援は住民のニーズや時期、目的に応じて臨機応変に対応する
- ✓ 行政等と連携し、その他介護予防に関わる事業と連動させながら住民の健康増進に寄与する